



「善循環の輪質疑応答エッセンス集」(広報担当 大山)

「善循環の輪 とくしまの集い in 鳴門」から

◎EM 活性液を作る際の温度について

<質問要約>

EM 活性液を作るとき、EM の増殖と温度との関係について教えてください。

<比嘉教授からのコメント>

以前は 15℃以下になると増えにくいと表現したこともありましたが、凍結さえしなければ EM は増殖します。低温でもエサがあれば時間は掛かりますが、ゆっくり増えていきます。要は積算温度の考え方です。

あと、気温が低いときは EM・3 を 1000 分の 1 になるように添加すると、エネルギーの転換が進みますので、凍結しづらくすると共に、発酵も促進され早く出来るようになります。

河川浄化、ホタルやアユ復活

せせらぎ会

(熊本市)

熊本市西区河内町の「せせらぎ会」は河川の浄化などに取り組んで20年目。中川ケイ子会長(70)を中心に6人のメンバーで、EM(有用微生物群)を培養した活性液を独自に作り、各家庭への配布を続ける。

地域には下水道が整備されておらず、水路の悪臭がひどかった。活動が実を結び、悪臭は消え、川にはホタルやアユも復活。現在も豊かな自然を守っている。近年は小中学生の環境教育に力を入れており、児童らにEMボカシ団子(EMに米ぬかなどを混ぜたもの)の作り方やホタルの幼虫放流などを指導。学校プールの水質浄化活動も手伝っている。

(高見伸)



河川浄化などに取り組む「せせらぎ会」のメンバー＝熊本市西区河内町

熊本市の「せせらぎ会」(会長：中川ケイ子U-ネット世話人)が、「第105回熊日緑のリボン賞」を団体部門で受賞されました。「せせらぎ会」は、今年で活動20年目を迎えます。節目の年での受賞おめでとうございます。

(熊本日日新聞、7月5日朝刊より)

緑のリボン賞

105回 7団体・3個人に

社会奉仕や環境美化などの活動に長年取り組んでいる人をたたえる「第105回熊日緑のリボン賞」の受賞者が、7団体3個人に決まった。

緑のリボン賞は1959年に創設。2012年前期にあたる今回は、11年12月1日から12年5月31日までに熊日紙上へ掲載された記事の中から選考した。

第1回からの受賞者は、357団体・956個人になった。贈呈式は7日午後2時から、熊本市中央区世安町の熊日本社である。

受賞者の顔触れ

▽団体

熊本北部漁協＝長洲町

コスモス学級＝和水町

おはなしポケット＝合志市

せせらぎ会＝熊本市

音唐訳ボランティア

「こまどり」＝益城町

畷野老寿会＝美里町

ひまわり会＝天草市

▽個人

荒平静雄さん(78)＝玉名市

清田希成さん(78)＝熊本市

柴田メグミさん(84)

＝あきぎり町

7月22日(日)、日本橋で恒例の橋洗いが行われました。参加者は1600名。

開会セレモニーのあとEM団子4000個を日本橋川へ投入。その後EMシャボン玉石けんをつかって橋を掃除しました。子供たちがずぶ濡れになりながら楽しそうにブラシをこする姿が印象的でした。

◆◆◆◆ イベント、講演会のご案内 ◆◆◆◆

◆比嘉照夫教授講演会(島根県津和野町)

【日時】8月4日(土)13:15(開場)～16:50 【場所】日原小学校体育館

【問い合わせ】津和野町町役場環境生活課(電話:0856-72-0309)

◆善循環の輪 兵庫南部の集い in 淡路(併催「花のまちづくりセミナー」)

【日時】8月18日(土)10:00(開場)～17:30 【場所】サンシャイン(大ホール)

【お問い合わせ】U-net事務局